

# 「政権交代で消費税の減税を」会員訪問で不満の声が寄せられる



代で実現させましょう。

や消費税減税を政権交  
ず所得に応じた給付金  
での総選挙。業種を問わ  
代へ期待の声が出  
されました。

厳しい状況が続く中  
し、次の総選挙での政権  
消費税はゼロにして欲しい」と厳しい現状を話  
の時もある。2店舗経営は厳しくなってきた。  
高級品は買い控える。土日でも古町はお客ゼロ  
がない。お客さんは出掛けなくなり、経済的に  
靴屋さんは「持続化給付金後まったく給付金  
になりそうだ」と不安の声が出されます。

また14日にはしもまちの片桐支部長と、1  
7日は渡辺副会長と野本前市議と中央・しもま  
ち両支部の会員を訪問。居酒屋さんは「週末は  
客足が戻りつつあるが平日はダメ。感染症禍で  
満席にできない。来店客との兼ね合いでティク  
アウトとの併用も難しい」と話し、新たに訪問  
販売を始めた八百屋さんは「しもまちの旧コミ  
センにスーパーができる」と聞いた。スーパーの  
移動販売なども増えてくるとまた厳しい状況  
になりそうだ」と不安の声が出されます。

「仕事帰りに惣菜を買って帰  
るお客さんも減り大変な状況。  
時短の対象にならず全く給付  
金がない」と不満爆発。また  
居酒屋さんのランチはお客さんが戻りつつあ  
る様子。「弁当の注文がありそうで弁当店援事  
業に登録するか迷っている」と新たな悩みも。  
カレー屋さんでは息子さんと初対面。新たにバ  
ーも開業したいと抱負を語ってくれました。

15日に関屋支部では、ほ  
ば全会員を訪問しました。  
訪問先のお弁当屋さん  
「仕事帰りに惣菜を買って帰  
るお客さんも減り大変な状況。  
時短の対象にならず全く給付  
金がない」と不満爆発。また  
居酒屋さんのランチはお客さんが戻りつつあ  
る様子。「弁当の注文がありそうで弁当店援事  
業に登録するか迷っている」と新たな悩みも。  
カレー屋さんでは息子さんと初対面。新たにバ  
ーも開業したいと抱負を語ってくれました。



関屋・中央・しもまち支部会員訪問

## 新潟民商

新潟民主商工会  
新潟市沼垂西3丁目  
電話(243)0141  
21年10月25日

### 経営対策部・青年部共催ビジネススキルアップセミナー 事業計画書作成会

#### ビジネススキルアップセミナー 今後の日程

##### SNS学習会

日時：11月5日(金) 10:30~12:00  
会費：1,000円 ※学習会後にランチ会を行いません。  
定員：10名

##### 事業計画書作成会

日時：11月22日(月) 19:00~20:30  
会費：無料  
※会場はいずれも「えんではよこし」です。

10月18日、ビジネススキルアップセミ  
ナーが「えんではよこし」を会場に開催さ  
れ、講師の山本美幸さんを含め3名が参加し  
ました。「事業計画書とはどういうものか」と  
いう説明から始まり、自己紹介を行なった後  
は前回(9月16日)と同様、山本さんが自  
身の事業計画書を例にして、書き方や作成の  
ポイントを解説。山本さんは「例えば塗装の  
方であれば…」など参加者に合わせた例を交  
え、問いかけながら説明を進めました。  
説明を受けた参加者は「とにかく書いてみ  
て、次回持ってきたい」「具体的な話が聞けた  
ので、来てよかった。こういう集まりならま  
た参加したい」と次回への  
期待の声も。参加者と次回  
の日程を相談していく中  
で「SNSの学習会を開催  
してほしい」という要望も  
あり、「SNS学習会」の  
開催も決定しました。



#### 日程

- ・第4回三役会議 10月26日(火)
- ・第4回常任理事会 10月29日(金)
- ・婦人部理事会 10月29日(金)

## 「次回は10月の月次支援金にも挑戦してみたい」 学び合い助け合う相談会「中央・西ブロック」

10月15日、民商會館を会場に中央・西ブロック合同の感染症対策相談会を開催。6名の相談者が参加しました。

今回の相談会は国保減免の申請にチャレンジ。野上昇会長の「とにかく制度を活用して商売を守る」との挨拶の後、松本里志副会長が中心となって相談会が進められました。



今年度の国保減免制度の最大の問題点は「今年の売上が昨年の売上比で30%以上減少している」という条件。昨年も感染症で売上が減少しているにも関わらず厳しい条件です。参加したみなさんは商売の厳しい状況を交流しながら一斉に申請書を完成させました。

申請書を完成させたある会員は「申請書が完成してホッとした。次は10月分の月次支援金に挑戦したい」と相談会への期待の声を話していました。また次回の日時が決定次第告知します。皆さんご参加下さい！

## 新潟市「Oh!弁当で地域のお店応援事業」 申請登録・活用をすすめて助け合おう

### 事業実施期間

【2021年11月1日～2022年1月31日】

### 補助内容

【利用者】 新潟市内に在住、在勤、在学している者  
 【補助要件】 1個3千円（税抜）以上の弁当（持ち帰り又は配達を同一利用者にまとめて5個以上販売すること

【補助額】 1個当たり2分の1（上限2千円）

【補助上限】 1登録店あたり300万円

\*登録を希望する場合は店舗のある区役所へ登録店申込書を提出して登録します。登録が完了するとステップカードが配布されます。

\*利用者は原則10日前までに予約をして市からクーポンを受け取ります。会計時は利用者からクーポンを受け取り、その額を差し引いた料金を利用者から受領します。

\*補助金の申請にはクーポンの原本が必要となります。無くさないように管理して下さい。

## 家族そろって健康で商売を続けよう 大腸がん検診を受診しよう

新潟民商共済会では、今回で23回目を迎える大腸がん検診を11月初旬に実施します。回収日・場所については、各支部で作成した案内チラシが商工新聞に折り込み済みですので、そちらを参照してください。

昨年は、共済役員の活躍などもあり、検診受診者は増加しました。

今年もさらなる訪問・声掛けで受診者の増加を目指します。また今年は共済会から「マスクケース」のプレゼントもありますので、より足を踏み出しやすい環境となっています。

近年、大腸がんを原因とする死亡が急増しています。その原因は、食生活の欧米化(肉類・乳製品などの高脂肪食、低繊維食品の摂取の増加)と言われています。大腸がんは、早期に見つければかなりの確率で治ります。各支部・班で声を掛けあい、1年に1度は受診するようにしましょう。

共済会では「目配り・気配り・心配り」を合言葉に共済本来の目的を説明し、共済未加入の方に加入を進める活動を強化しています。選挙などでの会員訪問が広がる中、共済会未加入者の加入も進めていきましょう。とりわけ一家の大黒柱である配偶者の加入をすすめ、状況を確認しながら進めましょう。



## 婦人部からのお願い 学生への支援に協力を！

新型コロナウイルス感染症の影響で学生の生活が非常に困難な状況になっています。婦人部では、大変な状況の学生を助けたいと食糧支援に取り組むこととなりました。以下のようなものがご自宅にありましたら婦人部までご連絡ください。

コメ、カップ麺、レトルト食品、(食品は賞味期限内のものをお願いします。)ノート、食器、洗剤などの生活用品